

天から お願ひ とします



本願寺派総合研究所 主催 第1回 公開講座

宗教と公共性

— 自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現にむけて —

2013年 9月 12日 (木)

場所 聞法会館 京都市下京区堀川通花屋町上ル (西本願寺北側)

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

13:05 ~ 13:45 発題

京都初進出

13:45 ~ 14:45 本願寺 白熱対談

14:45 ~ 14:55 閉会挨拶

発題者 小林 正弥 氏 (千葉大学大学院教授)

コメンター 柴内 康文 氏 (東京経済大学教授)

浄土真宗本願寺派総合研究所

※ 本講座は六条円卓会議の成果を宗門内外に広く公開するための公開講座です。



本願寺派総合研究所 主催 第1回 公開講座

宗教と公共性

— 自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現にむけて —

発題者 小林 正弥 氏

(千葉大学大学院 人文社会科学研究所 教授)

1963年東京都生まれ。東京大学法学部卒。専門は、政治哲学、公共哲学、比較政治。マイケル・サンデル教授と交流が深く、NHKで放映された「ハーバード白熱教室」では解説も務めた。著書に『サンデルの政治哲学——正義とは何か』平凡社新書（2010年）、『サンデル教授の対話術』NHK出版（2011年）、『対話型講義 原発と正義』光文社新書（2012年）など多数。監訳・解説書に『ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業』早川書房（2010年）。



ハーバード大学のマイケル・サンデル氏の「白熱教室」は、皆さまも、よくご存知だろうと思います。小林正弥先生は、マイケル・サンデル氏を日本に紹介するとともに、「白熱教室」（対話型講義）を各地で実施し、現代社会の課題に関する白熱した議論が各地で沸騰しています。今回は、シンポジウム形式で、「白熱教室」ならぬ「白熱対談」を開催します。

「公共性」に関する議論が、今、活発になっています。言うまでもなく、宗教と公共とは、密接に関わる重要な課題でもあります。当日は、宗教と社会は、どのように関係しうるのかという現代的な課題について議論を行ないます。

コメンテーター 柴内 康文 氏 (東京経済大学 コミュニケーション学部 教授)



1970年生まれ。1994年東京大学文学部を卒業。1999年東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻博士課程単位修得退学。専門は、社会心理学、メディア・コミュニケーション論。訳書に『孤独なボウリング：米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房（2006年）、共編著に『ソフト・パワーのメディア文化政策』新曜社（2012年）、著作には「地域コミュニティとインターネット」（稲葉陽二・藤原佳典編『ソーシャル・キャピタルで解く社会的孤立』ミネルヴァ書房〔2013年〕）など多数。